

## 御所見地区の取組み資料

### 目 次

1 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
2 対象 6 自治会へのアンケート結果について	・ ・ ・ ・ ・ 1
3 再編イメージ(ふじみ号および長 1 7 系統)の意向調査	・ ・ ・ 4
4 再編イメージの意向調査結果	・ ・ ・ ・ ・ 5
5 交通事業者との協議	・ ・ ・ ・ 1 2
6 調査結果の評価	・ ・ ・ ・ 1 2
7 バスに関する調査結果のまとめ	・ ・ ・ ・ 1 3
8 御所見南部地域の路線再編の進め方	・ ・ ・ ・ 1 4
9 バス利用促進に資する付帯的な施策の検討	・ ・ ・ ・ 1 7

第 4 回 藤沢市地域公共交通会議

2014 年 1 月 21 日 (火)

藤 沢 市



## 1. はじめに

H17年に導入した「ふじみ号」の利用者数は、1便あたり5人を下回る程度となるなかで、長後駅西口から用田辻を経由して宮原南に至る系統（長17系統）についても用田辻以南の利用者が少ないことから、今後利用が進まない場合には、路線の廃止も含めた対応が必要となるとの考えをバス事業者より示されました。

このため、御所見南部の公共交通をいかにして維持すべきかについて平成24年12月にアンケートを実施し、その結果を踏まえ、p.3の再編案を作成し、周辺施設利用者の意向の調査や、乗込み調査等の複数の調査を行った結果についてとりまとめ、これらの調査結果をもとに、路線再編イメージを2案作成したものです。

ここでは、第2回藤沢市地域公共交通会議以降にとりまとめた調査結果を中心に、報告を行います。

## 2. 対象6自治会へのアンケート結果について（2012年12月に実施）

### （1）アンケート結果

対象自治会の小学生以上にアンケートした結果から、次のような再編の方向性等が示されました。

- ・ふじみ号再編の方向性について、湘南台駅へ直通で行かれるルートを求める方は、1ヶ月に数回以上利用される方のうち、78.5%と高い割合となりました。

① <u>御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする。</u>	(41.6%)
② 小学校の通学に利用できるルートにする。	(14.0%)
③ 用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できるルートにする。	(11.1%)
④ <u>湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。</u>	(78.5%)
⑤ 長後駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。	(20.6%)
⑥ <u>時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする。</u>	(27.6%)
⑦ その他	(14.9%)

1ヶ月に数回以上利用される方のふじみ号再編の方向性について

- ・バスに関するダイヤや乗継情報の、情報提供を求める意見が高い割合となりました。

① <u>時刻表や乗継ぎ情報を示した冊子を御所見地区に配布する</u>	(36.0%)
② <u>湘南台駅や辻堂駅で、ふじみ号の乗継ぎ便が分かるように、バス停を示す。</u>	(29.1%)
③ 利用者が時間のわかるように御所見地区等の施設で時刻表を貼りだす	(11.0%)
④ 運賃を安くする	(18.3%)
⑤ 地区内で提携する施設（病院・スーパー）で、割引等のサービスを行う	(5.6%)

最も有効と考えられる施策について

## (2) アンケート結果を基にした再編イメージ (ふじみ号および長17系統)

2012年12月に実施したアンケート結果をもとに、今回、利用者等のご意見を伺うために仮に想定した計画です。今後の計画については、ご意見を踏まえ、変更していく見込みです。

以下に、再編イメージと、再編で想定するメリットを整理します。

### 【アンケート結果を基にした再編イメージの前提条件】

- ① 御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする。
- ② 小学校の通学に利用できるルートにする。
- ③ 用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できる。(①と同時に検討する項目。)
- ④ 湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。
- ⑤ 時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする。

### 【再編のイメージ】

#### ① ふじみ号 (新)

路線 : 慶応大学～榎戸～光友会入口～  
瀬郷公民館～藤沢御所見病院～  
瀬郷中島～**新設3**～**新設2**～  
中里団地～**新設1**

運行頻度 : 時間あたり1.5往復程度  
(一部時間のみ)

#### 想定するメリット

◎人口の多い御所見中心地区に新たにバス停が設置されることで、利便性確保および需要確保が想定されます。

#### ② 綾瀬車庫～宮原南～湘南台駅西口 (新)

路線 : 綾瀬車庫～用田辻～宮原～  
宮原南～**新設4**～**新設5**～  
榎戸～慶応大学～**湘南台駅西口**

運行頻度 : 時間あたり1往復程度

◎鉄道駅利用としてニーズの高い湘南台駅へアクセスしやすくなることにより、利便性確保および需要確保が想定されます。

### 【新規バス停】

**新設バス停1** : 御所見市民センター付近

**新設バス停2** : 中里小学校付近

**新設バス停3** : 中里小学校南西

**新設バス停4** : 瀬郷西交差点付近

**新設バス停5** : 乗馬クラブ湘南付近

◎人口の多い御所見中心地区や病院の付近に新たにバス停が設置されることで、利便性確保および需要確保が想定されます。



### 3. 再編イメージ（ふじみ号および長17系統）の意向調査

御所見地区のふじみ号及び長17系統の再編は、一体的に進められるものであるため、ふじみ号利用者、長17系統利用者に前述の路線の再編イメージを示しながら、次の調査を実施しました。

#### ■ふじみ号及び周辺路線の再編に向けた調査

##### 【把握が必要な項目】

- ・路線再編による効果（利用促進）が発揮できそうか
- ・一方、路線の変更による廃止バス停により、利用ができなくなる利用者がいるか
- ・これらの利用者は引き続き公共交通を利用することが可能か
- ・新たに路線を新設する区間において利用が見込めるか

#### 以下の4つの調査を実施

##### ①御所見市民センター来訪者へのアンケート調査（7月5日実施、44票回収）

⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

##### ②現在のふじみ号利用者へのアンケート調査（7月10日実施、132票回収）

⇒利用区間や利用頻度、再編に対する意向を把握

⇒廃止を予定するバス停を利用している方については、再編後の意向を把握

##### ③御所見地区高齢者団体へのヒアリング調査（9月11日実施）

⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

##### ④中里小学校区での利用意向調査（9月27日回収、168票回収）

⇒中里小学校区の周辺の地区での利用意向を把握（通学での利用の可能性など）

⇒新たに路線を設定することで想定される利用者数を把握

⇒再編による効果や課題について確認し、再編案を検証します。

#### ■長17系統の廃止と湘南台直通系統の新設に向けた調査

##### 【把握が必要な項目】

- ・路線再編による効果（利用促進）が発揮できそうか
- ・宮原周辺から長後駅周辺へ移動を行っている利用者がいるか
- ・これらの利用者は引き続き公共交通を利用することが可能か
- ・長17系統の利用者の路線変更の際の意向

#### 以下の3つの調査を実施

##### ①御所見市民センター来訪者へのアンケート調査（7月5日実施、44票回収）

⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

##### ②現在の長17系統利用者へのアンケート調査（7月10日実施、67票回収）

⇒利用区間や利用頻度、再編に対する意向を把握

⇒廃止を予定するバス停を利用している方については、再編後の意向を把握

##### ③御所見地区高齢者団体へのヒアリング調査（9月11日実施）

⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

⇒再編による効果や課題について確認し、再編案を検証します。

#### 4. 再編イメージの意向調査結果

##### (1) ふじみ号、長 17 系統（長後駅～用田辻～宮原南）乗込み調査結果について

(2013 年 7 月)

- ・ふじみ号の路線再編案については、再編後も「(再編) ふじみ号」と「(新系統) 綾瀬車庫～湘南台駅」を合わせると利用する人が 90.1%と高く、バスの利用が維持されることとなりました。
- ・再編後にふじみ号を利用される方のほとんどが、光友会入口を利用される方でした。
- ・再編後の利用頻度の変化についても、「変わらない」が 87.4%、「変わる」が 8.4%となっており、再編後も今まで通り利用する考えであることがわかりました。
- ・長 17 系統を利用されて長後方面に行かれている方の一部は、目的地まで直接行けなくなる可能性があるため、乗継利便性の確保等で、適切な交通手段が必要なことがわかりました。

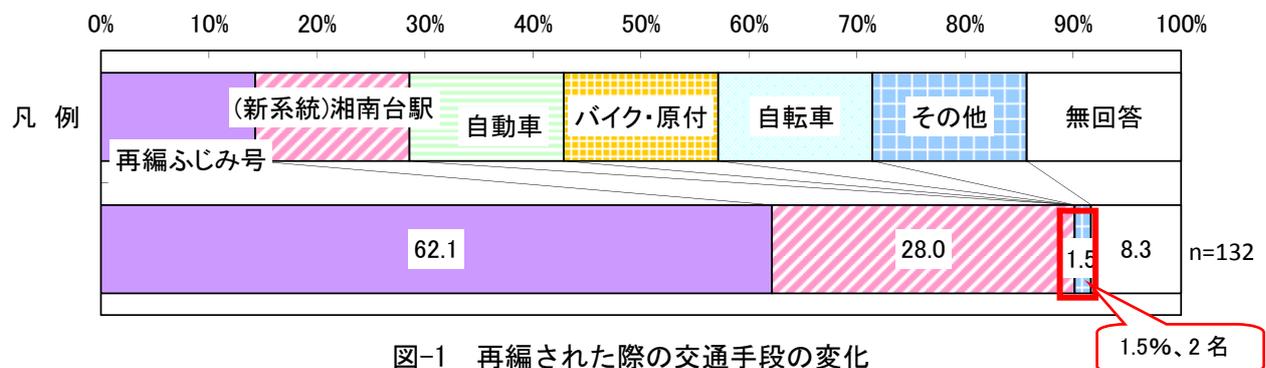


図-1 再編された際の交通手段の変化

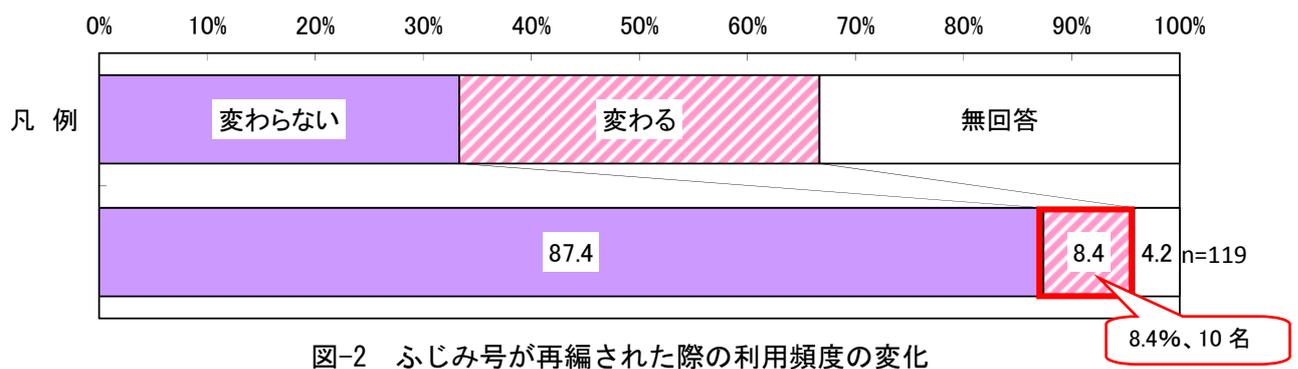


図-2 ふじみ号が再編された際の利用頻度の変化

表-1 再編された際の利用頻度の変化

	見直し後の頻度	見直し後の頻度				合計
		毎日	週4～5回	週2～3回	週1回程度	
現在の頻度	週4～5回	2				2
	週2～3回		1	1		2
	週1回程度		1	1		2
	週1回未満			2	2	4
合計		2	2	4	2	10

利用頻度の増加傾向がみられる回答者 9名

## (2) 光友会へのアンケートについて (2013年7月)

- ・光友会を利用する方へも2013年(平成25年)7月にアンケートを実施しました。
- ・朝夕の特定の通勤・通所の時間帯にふじみ号の路線があれば、今までどおり利用する意向が確認されました。
- ・路線再編をした場合も、94.7% (36人) の人がふじみ号を利用すると回答しました。

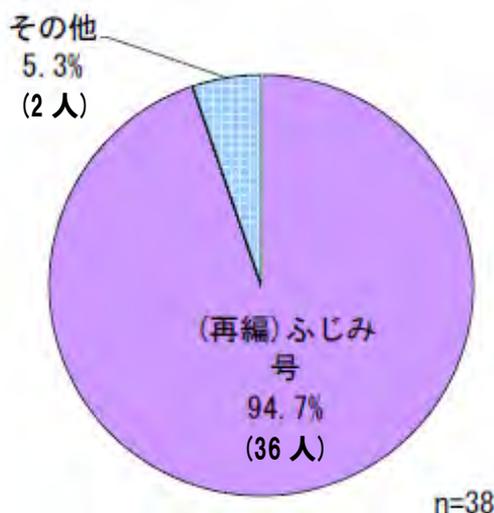


図-3 再編された際の交通手段の変化

## (3) 市民センター利用者アンケート及び高齢者団体へのヒアリング結果

(2013年7月、9月)

- ・御所見地区から湘南台へ直通路線への肯定的な意見が多い結果となりました。
- ・御所見南部から御所見市民センター付近への路線を希望される声が多いものの、車利用からの転換については、消極的な意見を多くいただきました。

表-2 路線バス再編を実施した場合の公共交通の利用意向

① (再編)ふじみ号	3人 (6.8%)
② (新系統)綾瀬車庫～湘南台駅	18人 (40.9%)
③ 自動車	16人 (36.4%)
④ バイク・原付	1人 (2.3%)
⑤ 自転車	0人 (0.0%)
⑥ その他	0人 (0.0%)
⑦ 無回答	4人 (9.1%)

#### (4) 小学校通学バスの利用意向について（2013年9月）

- ・通学バスの開設については、利用者数、利用意向、ルート、運行時間について評価した結果、通学バスとして路線を設けることは難しいと判断されます。
- ・一方で、生徒が、公共交通に関わる機会を持つことが現在、将来的に有効と考えられる回答があったことから、小学校と連携した公共交通に関する体験学習の実施等を検討したいと考えます。
- ・以下、代表的なアンケート結果を示します。

#### 問1 「利用意向について」の回答

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

利用しない	雨等の荒天時に限り利用したい	利用したい	わからない	その他	無回答	合計
100	34	19	11	4	0	168
59.5	20.2	11.3	6.5	2.4	0.0	100.0

- ・荒天時に利用したいという意向は高いですが、日常的な利用を希望される方は19人で、利用エリアが分散していることから定期路線として維持することに問題があります。

⇒利用エリアは後述する図を参照

#### 問2-1 「バスを利用しない理由（回答 問1で「利用しない」を選択）」の回答

（複数回答）

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

徒歩通学に不自由することはない	車で送迎しており、特に不自由はない	歩いて通学することが好ましい	運賃の負担が大きい	時間が限定され、不便である	その他	無回答	合計
76	6	23	8	9	6	0	100
76.0	6.0	23.0	8.0	9.0	6.0	0.0	100.0

## 問2-2 「バスを利用する時間（回答 問1で「利用しない」以外を選択）」

- ・利用を希望される時間帯が午前8時前後であり、光友会や藤沢御所見病院の利用者の希望時間帯と時間帯が重なってしまい、利用が点在する中里小学校への輸送が困難です。

表-4 御所見地区各施設の利用者の希望時間帯

施設	始業時間	路線種別	バス停	始業時 バス 希望時間	利用 見込み 人数
藤沢御所見病院	8:30	直通	(仮称) 藤沢御所見病院	<u>8:10</u>	15
光友会	8:30 8:45	直通 支線	光友会入口	7:50	5
	9:15	直通 支線	光友会入口	<u>8:20</u> 8:50	25
中里小学校	8:30	支線	(仮称) 中里小学校前	<u>8:10</u>	15

藤沢御所見病院、光友会への送迎は時間帯が重なるため可能

中里小学校への送迎は各地への経由が必要のため、病院や光友会への送迎と同時刻での運行が困難

## 問3 「通学バスを利用される場合の負担の考え方について、ふさわしいと思うもの、実施してもよいと思うもの」の回答（回答 問1で利用意向がある方）

（複数回答のため意見総数を示す） [上段：回答数 下段：構成比（%）]

月額3000円程度の定期券を購入する	定期券以外の区間でも利用できる月額3000円程度の回数券等を購入する	定期券、回数券の購入は行わないが、一定の負担を市がとりまとめるかたちで、車体広告、車内広告を集めることに組織で協力する	ボランティア活動の収益をバスの路線維持のために寄付する	バスの時刻表・利用案内の作成を協力する	合計
10 12.2	37 45.1	18 22.0	8 9.8	9 11.0	82 100.0

- ・運賃は回数券が良いという認識が多く、固定区間に利用が限られる定期券の利用意向は少ない状況です。

#### 問4 「バスの利用につながる活動として、ふさわしいと思うもの」の回答

(複数回答)

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

小学校で公共交通利用(バス利用)の仕方、バリアフリー施設等について体験学習を行う	地域のイベントでバスの乗車体験や情報周知などの活動を行う	地域のバスの時刻表等を示した冊子を届ける	小学校の児童がいる世帯向けのバスの割引サービス等の情報について、冊子等で周知する	無回答	合計
53 31.5	31 18.5	68 40.5	77 45.8	38 22.6	168 100.0

- ・利用者への情報提供及び公共交通等の体験学習については、肯定的な意見が多かったことから、路線再編後の情報提供を行うとともに、小学校での体験学習についてどのように実施できるかについて、関係機関との調整を進めます。

## 問5 「その他バスへの要望や問題に感じていること」の自由意見

○路線に関する要望
1. 用田方面から湘南台行き（11名）
2. 倉見・寒川・海老名・茅ヶ崎方面（7名）
3. バス停が遠い、新設を希望（3名）
○便数・ダイヤに関する要望（6名）
・バスの本数が少ない、車が速い
・乗り継ぎが不便
・始発時間を早くする（通勤・通学に利用不可）
○通学バス反対・問題提議
1. 不要・課題あり（4名）
・負担する定期券の方が大変
・通学バスは不要
・班で登校のため、通学バスは、学校・保護者等の合意が必要
・通学に関しては歩きを前提とし、天気によって判断
2. 現在・将来の子供の利用（3名）
・子供が大きくなった時の通学に、有効に利用できることがのぞましい
・子供の習い事のために利用できるバスが、送迎の負担軽減、子供の社会勉強にも有効
3. その他
・遠くから通学している生徒がより安全に通学できればよい

- ・既存のバス路線に関する改善要望が多く、今後進める湘南台駅直通の路線については、路線開設を望む声が多くあります。
- ・乗り継ぎの問題についても、今後の路線再編のなかで、改善される見込みとなっております。
- ・現在の通学バスに関わらず、習い事、将来的な通学に必要なと考える方もいらっしゃるため、公共交通の利用に関する体験学習等は有効と考えられます。

### バス停設置希望箇所のプロット結果

- ・小学校通学バスの利用意向調査における、バス停設置希望箇所のプロット結果を次頁に示します。
- ・前述のとおり、利用希望者が分散しており、1つの路線に集約することが難しい状況となります。



## 5. 交通事業者との協議

交通事業者とも協議を実施し、以下のような意見をいただきました。

- ・ 長後駅～宮原南の系統を見直し、御所見地区から湘南台へ直通の路線を開設する方向については問題ない。
- ・ ふじみ号が寿命を迎える段階で車両を更新することは難しい。ふじみ号をやめて湘南台直通系統のみとし、将来を見越して、全ての便を光友会入口を経由することも考えられる。
- ・ 住民が希望した 路線を維持するため、利用者を増やす取組みが重要となる。

## 6. 調査結果の評価

再編イメージへの意向調査を作った結果、以下のことが分かりました。

- ・ 御所見地区から湘南台へ直通の路線を開設することへ肯定的な意見が多く、交通事業者からも支持されているため、住民の意向に沿ったかたちで、御所見地区から湘南台駅直通の系統を新設します。
- ・ 御所見南部から御所見市民センター付近の御所見中心部への路線を希望される声は多いが、御所見地域内の移動にバスを利用する可能性がある方は少ない。
- ・ 新設路線についても、利用者が少ない場合には、路線を維持することが難しくなるため、住民や御所見周辺の施設の方に対して、利用促進や路線維持のための協力を求めています。
- ・ 自治会単位で意見交換を行うなかで、意見集約を図ります。

## 7. バスに関する調査結果のまとめ

このような意見調査結果と、交通事業者との協議を踏まえ、再編イメージをベースに再編のたたき台を作成します。

### 【アンケート結果で得られた意見への対応】

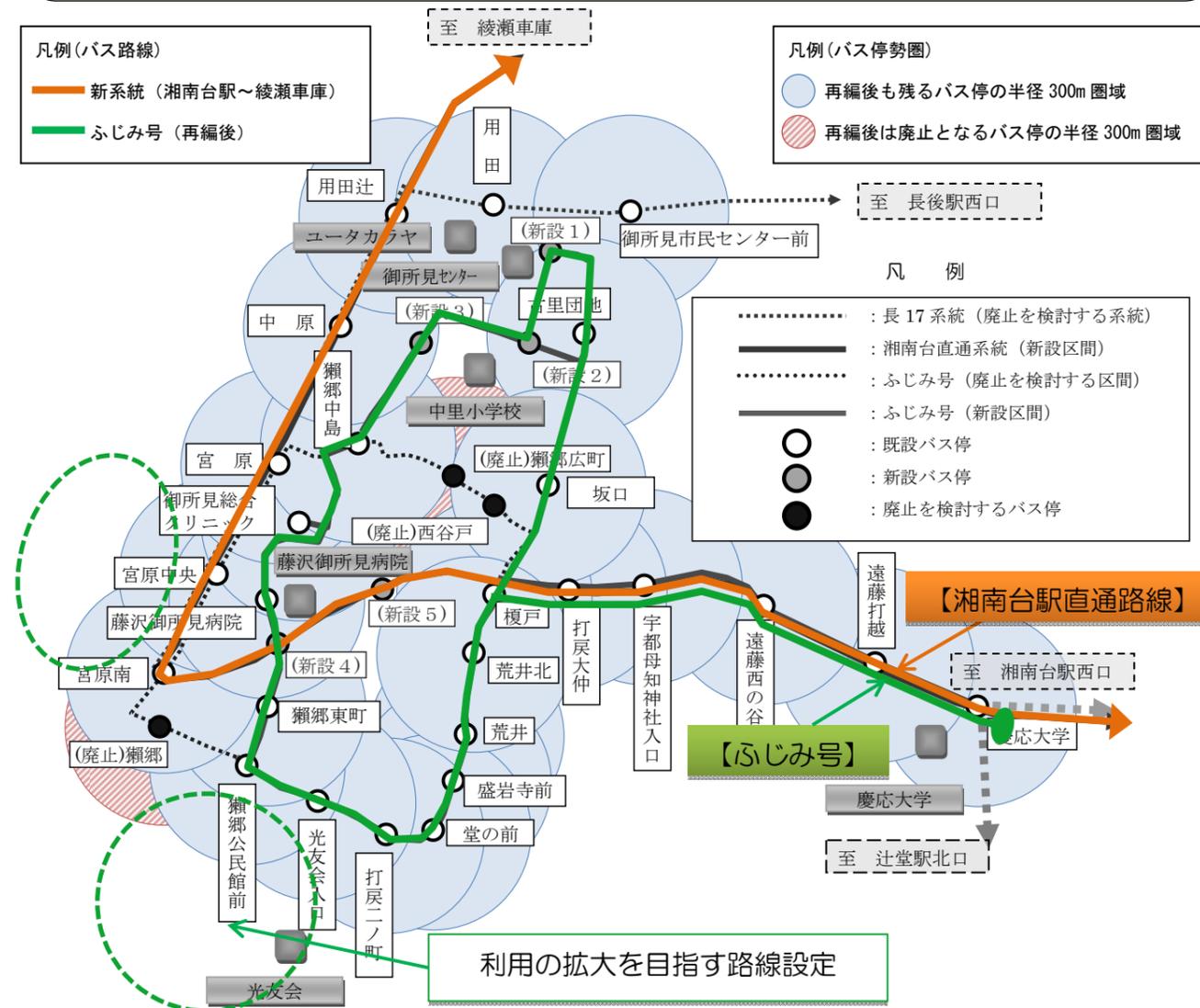
- ①御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする  
⇒御所見南部から御所見中心部への利用意向は少ない
- ②小学校の通学に利用できるルートにする  
⇒小学校への定期路線は現在は困難
- ③用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できるルートにする  
⇒御所見南部から御所見中心部への利用意向は少ない
- ④湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする  
⇒湘南台直通路線の必要性は高い
- ⑤時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする  
⇒路線再編計画のなかで、ルートの解りやすさを考慮



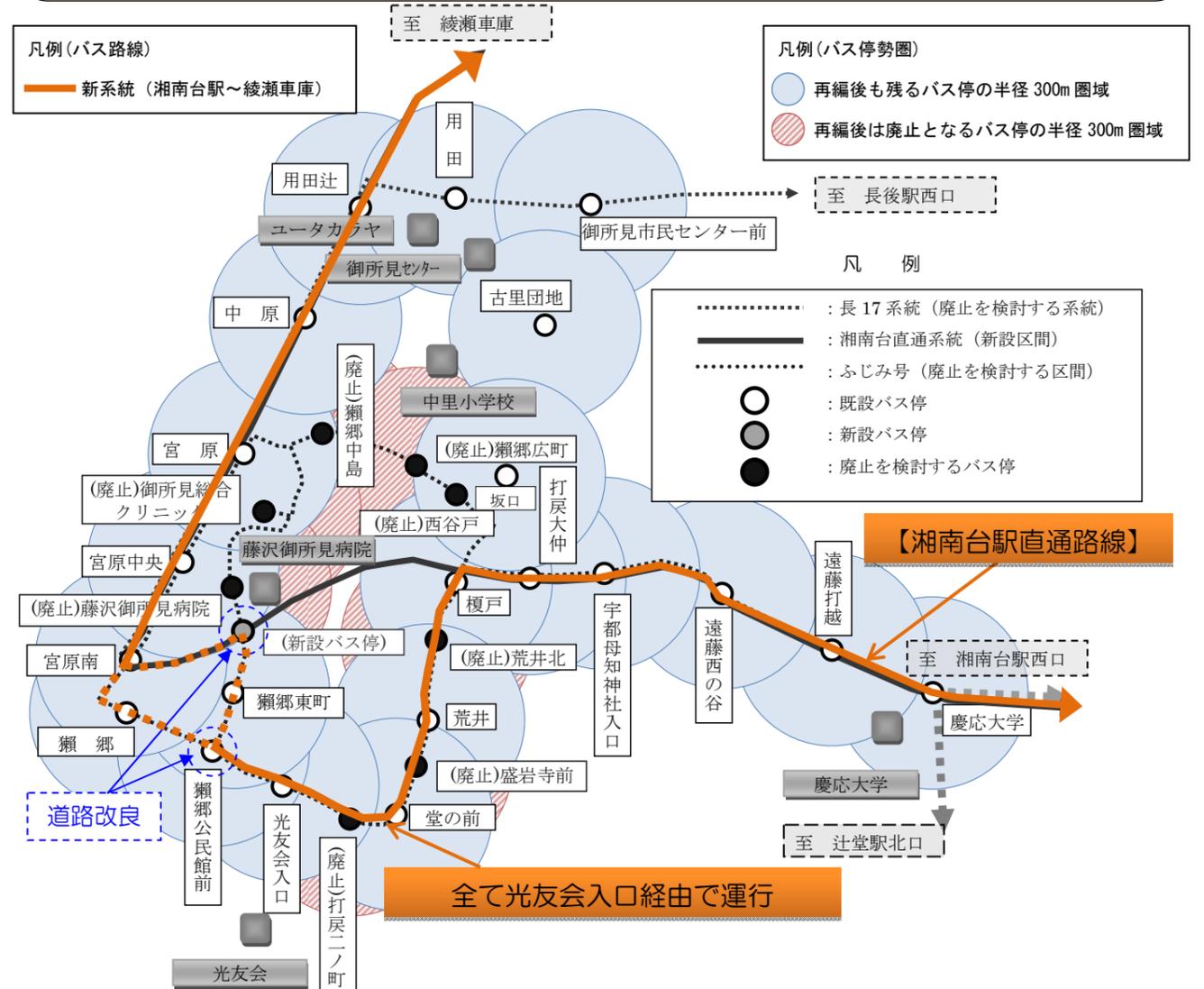
図-4 バス路線再編に向けた各種調査から得られた結果

<路線再編のたたき台>

【たたき台1】湘南台駅～綾瀬車庫の新系統+ふじみ号 の場合



【たたき台2】湘南台駅～綾瀬車庫の新系統 のみの場合



■再編による宮原周辺から湘南台駅までの運賃の変化

再編により慶応大学で乗継がなくなるため  
 湘南台駅への運賃がより安価になります。

	現在 (乗継運賃)	再編後 (直通運賃)
宮原～湘南台駅西口	※310円	270円

- 現在は宮原～慶応大学が170円、慶応大学～湘南台駅西口が210円ですが、両者を乗り継ぐ場合は宮原～慶応大学間が100円に割引されるため、合計310円となります
  - 再編後の直通運賃は、交通事業者の試算により設定
  - 宮原から長後駅西口までの現在の運賃は260円です
- ※運賃は消費税導入前の金額です。

■再編による運行本数の変化について

○現在

ふじみ号(慶応大学発)		宮原⇄長後駅(約20分)	
時間	分	時間	分
6	□	6	□
7	□□□	7	□
8	□□□□	8	□
9	□□	9	□
10	□	10	□
11	□□	11	□
12	□	12	□
13	□□	13	□
14	□□	14	□
15	□□	15	□
16	□□	16	□
17	□□	17	□
18	□□□	18	□
19	□□	19	□
20	□□	20	□
21		21	□
22		22	□
合計31便		合計15便	

○再編後(ケース1)

☆新系統(湘南台駅⇄宮原(約30分))		☆ふじみ号	
時間	分	時間	分
6	□	6	□
7	□	7	□□
8	□	8	□□□
9	□	9	□□□
10	□	10	□□
11	□	11	□□
12	□	12	□□
13	□	13	□□
14	□	14	□□
15	□	15	□□
16	□	16	□□
17	□	17	□□□
18	□	18	□□□
19	□	19	□□
20	□	20	□□
21	□	21	□□
22	□	22	□□
合計12便		合計14便	

湘南台駅の本数は、ピーク時を除いて、90分に1本程度と運行密度が低い

○再編後(ケース2)

☆新系統(湘南台駅～綾瀬車庫)		☆ふじみ号	
時間	分	時間	分
6	□	6	□
7	□	7	□□
8	□	8	□□□
9	□	9	□□□
10	□	10	□□
11	□	11	□□
12	□	12	□□
13	□	13	□□
14	□	14	□□
15	□	15	□□
16	□	16	□□
17	□	17	□□□
18	□	18	□□□
19	□	19	□□
20	□	20	□□
21	□	21	□□
22	□	22	□□
18便(+6便)		16便(+3便)	

宮原から湘南台へ向かう路線を常に1時間に1本以上確保可能

凡例  
 □: ケース1の便数  
 ■: 追加便数

## 8. 御所見南部地域の路線再編の進め方

### (1) 路線再編の地元意向調査

- ・前ページの2つのたたき台を示し、地元住民及び関係自治会と連携するなかで、意見交換を行い、最終方針についてまとめていきます。

### (2) 地域協議会

- ・2案のいずれも、一部のバス停が廃止された場合でもバス停300m圏域を逸脱しないことから、地域協議会の審議事項として扱わない事項とします。

### (3) 関係者の連携

当該地域の路線の利用が進まず、一部の路線の存続が難しい状態に陥ったことは、関係者間の連絡、連携が不足していた点も挙げられます。

このため、再編に向けた当該地域の路線維持に関しては、次のような関係を維持して取組みを進めていきたいと考えております。

#### ① 交通事業者

- ・再編にあたっての利用しやすいダイヤ。湘南台駅を決まった時間に出発、到着する。
- ・路線の利用者数等の情報を定期的に関係者に提供し、路線の課題の事前周知に努める。
- ・行政と連携して、利用促進に資する活動を行う。

#### ② 地元住民

- ・今後、当該地域のバス利用が進むよう地元へのバス情報の周知等について関係者との協力を行う。
- ・バスの利用を促進する。

#### ③ 行政

- ・バスを利用しやすい環境の整備を行う。(情報提供、施設整備)  
※後述する「8. バス利用促進に資する付帯的な施策の検討」に記載。
- ・公共交通の利用促進につながるモビリティ・マネジメントの活動を推進する。

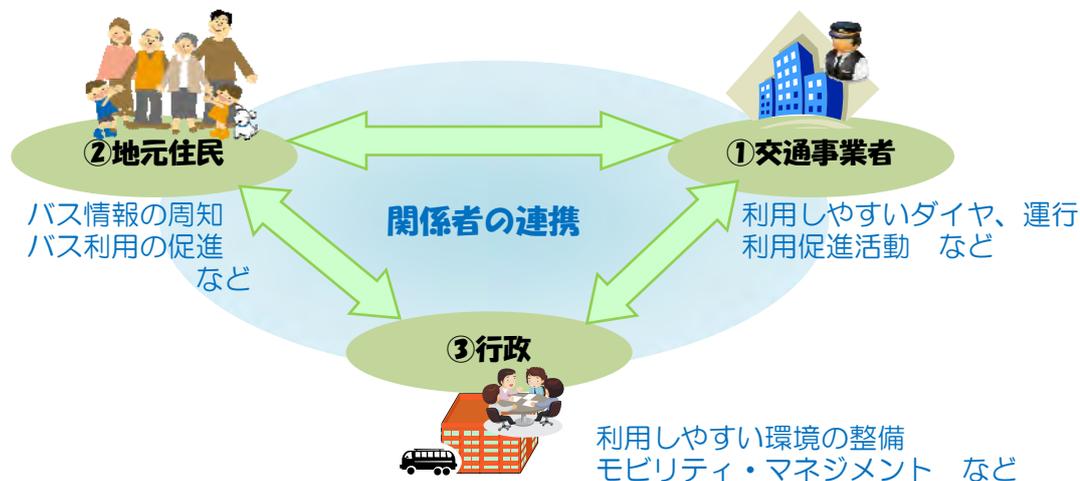
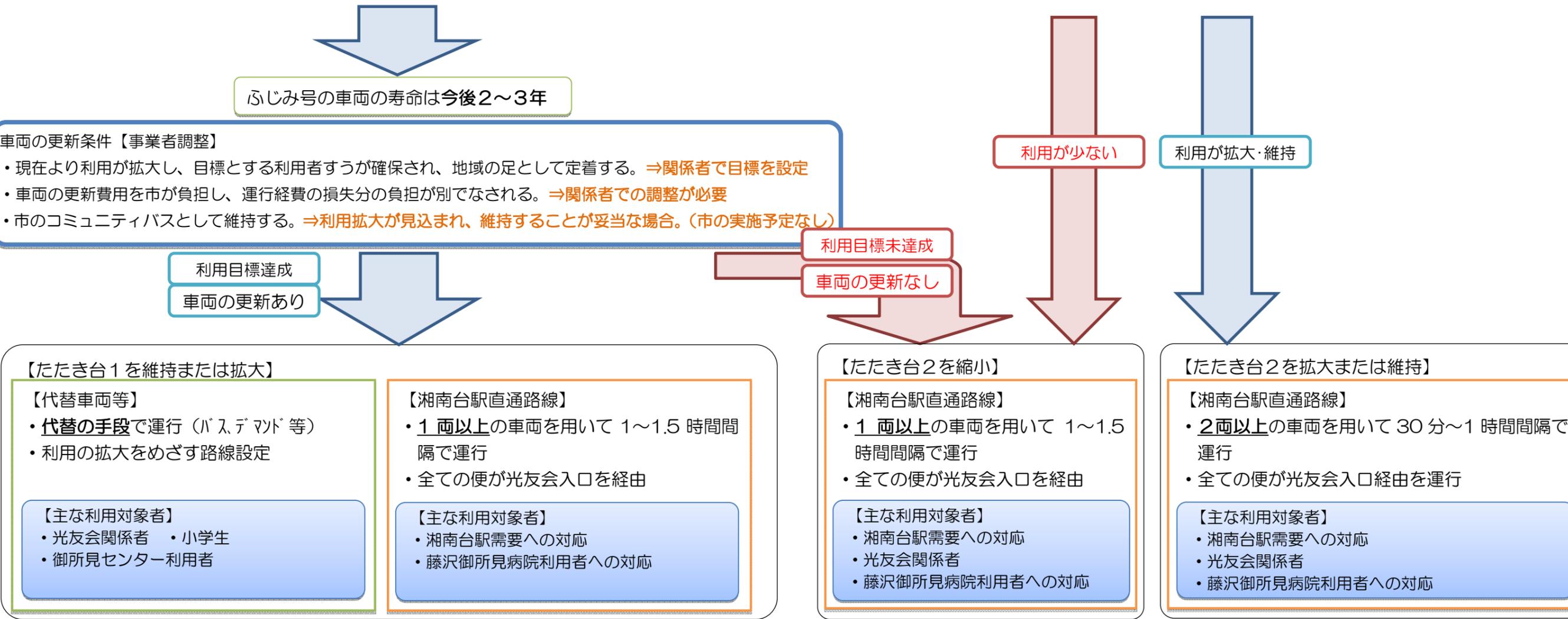
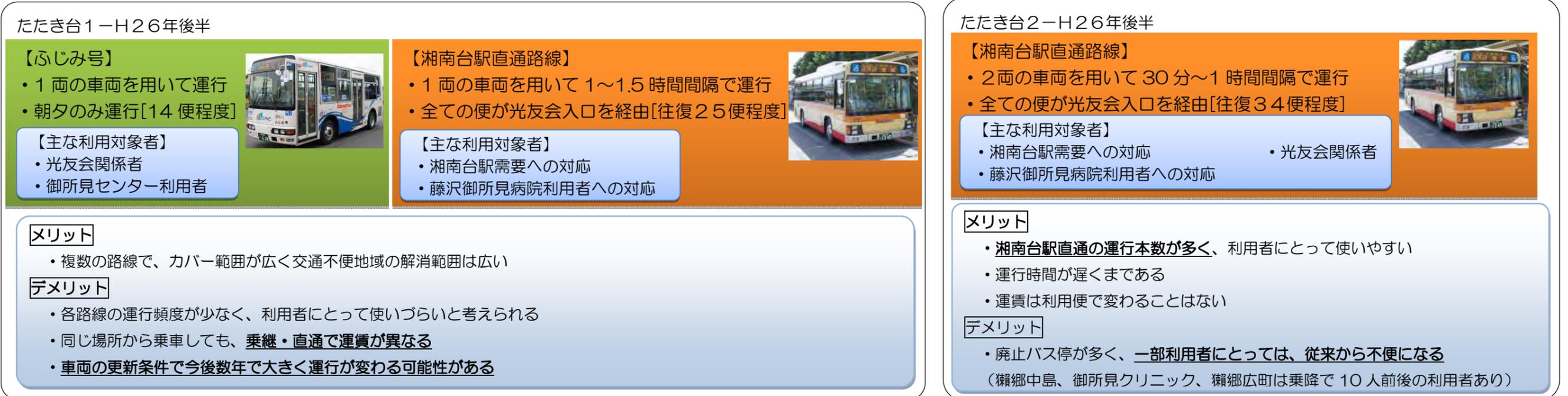


図-5 関係者の連携のイメージ

<路線再編の進め方フロー>



## 9. バス利用促進に資する付帯的な施策の検討

路線再編に向けて、バス利用促進に資する施策として、次のようなものを検討してまいります。

### (1) サイクル&バスライド駐輪場の整備

御所見地区は、平坦な地形であることから、自転車が利用しやすい環境をバス利用の拡大に生かすことも考えられます。具体的には、バスの基幹軸となる用田周辺と今回再編を伴う湘南台駅直通バスルート周辺に自転車駐輪場を設けることで、自転車が利用しやすい環境を整え、バス利用圏域の拡大を検討します。

既に実施された地域での整備イメージは次のとおりです。



写真-1 サイクル&バスライド駐輪場

### (2) 携帯型バス時刻表、家庭掲示型時刻表、バスルート案内の作成

バスの運行情報の提供がバス利用に資するものとして、バス時刻表やバスルート案内を作成します。取込む情報として次のようなものを予定しております。

- ① 路線情報
- ② 運賃情報
- ③ 路線ダイヤ
- ④ バス運行情報へのアクセス方法（QRコード等）
- ⑤ 周辺施設情報 など

なお、利用しやすさ等を考慮して作成をすすめます。  
イメージは右写真、下図の通りです。



写真-2 バス時刻表、案内パンフレット事例（八戸市）